

【茶】の【積雪】対策について

<12～3月>

宮崎県総合農業試験場専門技術センター

(1) 予想される被害状況

- ・ 摘採面への積雪による株割れや枝の折損に伴う減収。
- ・ 摘採面の乱れによる製茶品質の低下。

(2) 事前対策

- ・ 積雪による株割れや枝の折損等の被害を防止するため、降雪前に摘採面に遮光率が50～60%程度の化学繊維資材を直掛けする。

(3) 事後対策

- ・ 摘採面に積雪があった場合は、雪を無理に落とさず、自然に解けるのを待つ。
- ・ 枝条が折れた場合、雪が解けた後、折れた部分の下部から切除し樹勢回復に努める。
- ・ 雪の重みで摘採面が不揃いになった場合には、古葉の混入により品質が低下するのを防ぐため、摘採面を整えてから均一に浅く整枝する。
- ・ 被害茶園では、速効性の肥料を施用するとともに、排水の悪い茶園では湿害防止のため排水対策を行う。
- ・ 被害が大きく一番茶の収穫ができない場合には、3月中旬以降に中切りや台切り更新を行う。